



宮川ダムの取り組みや情報をお知らせする「宮川ダムNEWS」です。第3号では、台風11号時の放流対応やダム見学等についてお知らせします。

【台風11号】宮川ダムの防災操作について

ダム放流の状況

7月16日～17日に「台風11号」が当地域を通過し、累計820mmの大雨をもたらしました。

台風11号流量調節記録図

台風11号は勢力が大きく、進路が平成23年度に紀伊半島豪雨をもたらした「台風12号」と似ていたことから、大雨を想定し、早期に放流を開始しました。

右の図は、今回の大雨で宮川ダムがおこなった防災操作の記録です。ダムに流れ込む水量(流入量)を調節して、ダムから放流する水量(放流量)を抑えることにより、下流の増水を緩和させました。



ダム湖内の濁水対策

大雨後のダム湖内の濁水長期化を少しでも緩和させるため、ゲート放流中に、低部放流バルブ(ダムの低部)より水を放流しました。

低部放流バルブ等により、ダム低部の水を放流しました

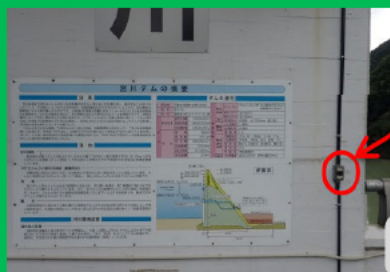
大杉谷自然学校がダム見学をしました

宮川ダムでは7月19日に、大杉谷自然学校の宿泊研修の一環で、三瀬谷小学校の生徒(6年生)の皆さんが、ダム見学をおこないました。宮川ダムの概要や役割などを学んでいただくことができました。



音声案内をご利用下さい

宮川ダムについての概要説明を「音声案内」にておこなっています。音声案内開始ボタンを押すと案内を開始します。お立ち寄りの際にはぜひご利用ください。



音声案内開始ボタン